

幸福駅、もつとハッピーに

昨年に新駅舎に生まれ変わった「恋人の聖地」、旧国鉄広尾線幸福駅（帯広市）でウエディング体験ができる「幸福駅ハッピーセレモニー」（帯広観光コンベンション協会主催）の運営が今年から地元の旅行会社に変更、魅力アップを目指す有料オプションが新たに加わった。

セレモニーは幸福駅で夫婦や恋人らに思い出をつくってもらおうと、2002年から続く人気イベント。参加費はウエディングドレスとタキシードのレンタル代などを含め1組3千円で、昨年までに国内外の2、695組が参加している。今年は先月26日に始まった。

昨年までは地元住民らでつくる「幸福観光再開発協議会」が運営を

セレモニー、地元旅行会社が運営 フラワーシャワーなどオプション

担ってきたが、会員の高齢化が進んだことなどから、帯広市の旅行会社「旅の便利屋」に変わった。これに合わせて、従来のセレモニーのほかに、列席者が花で祝福するフラワーシャワーやセレモニーの模様を収めたフォトブックなどの有料オプション（参加費込みのセットで1人1万3千円前後）を加えた。地元ホテルの協力を受け、宿泊も加えたセット商品の発売も計画している。

同社の半谷力社長は「参加者の意見を聞きながら、地域の貴重な観光資源でもある幸福駅の魅力を高めていきたい」と話している。

今年は11月3日まで。申し込み、問い合わせは幸福ハッピーダイヤル（0155・67・6611）へ。

（馬田賢一郎）



生まれ変わった「恋人の聖地」でのセレモニーで祝福を受けるカップル＝4月26日、帯広市